

東京都医療連携手帳のご案内

<対象疾患:大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・肝がん・前立腺がん>

東京都では、安全で質の高い医療を切れ目なく提供していくため、専門医が協力して、東京都共通の「東京都医療連携手帳」を作成しました。

手術などの治療を行った病院とかかりつけ医が協力して(医療連携)、専門的医療と総合的な診療を適切にバランスよく提供するために使用する手帳です。

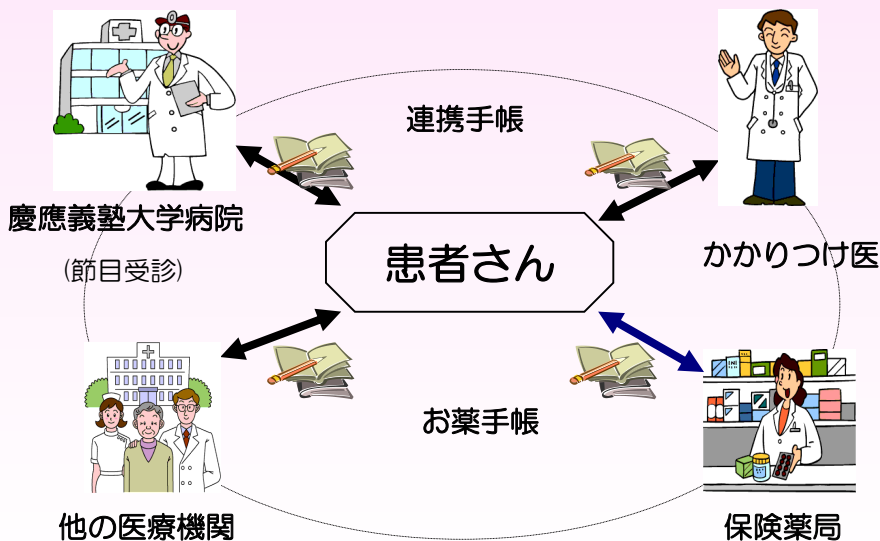
担当医より、東京都医療連携手帳を利用した医療連携を、東京都在住の方にお勧めする場合があります。

連携に同意される方、連携に興味を持たれた方は、担当医にお申し出ください。また、不明な点や心配なことがございましたら、医療連携推進部（医療連携担当）にご相談ください。

連携手帳とお薬手帳を持っていれば安心です。

手帳の内容

- ①患者さんの病状、治療内容等の診療情報
- ②今後5年間の診療予定表
(乳がんは10年間)
- ③診療予定表に基づく受診日の診療記録



手帳を使うことによる利点

- 医療機関同士が患者さんの治療経過を共有できるので、より適切な診療が可能になります。
- 診療予定表により、「いつ」「どこで」「どんな」診療・検査を受ければよいか分かります。
- 診療情報の共有により、かかりつけ医の診療を安心して受けることができ、通院時間や待ち時間が短縮し、通院の負担が軽減されます。

慶應義塾大学病院

お問い合わせ先：医療連携推進部（医療連携担当）
TEL 03-5363-3877